
狼につき、策士

きまぐれ屋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狼につき、策士

【Nコード】

N2274D

【作者名】

きまぐれ屋

【あらすじ】

彼は作家、あたしは編集者。彼のお手伝いをするのはいいのだけど、ここまでするの・・・?!

（前書き）

かなり甘めです。苦手な方はbackお願いします

「・・・分かんねえ」

丸一日かけて掃除した殺人的に汚かった部屋は、今は大分マシになってきている。

台所でコーヒーを煎っていたあたしは、机で頭を抱えているせんせいの元に歩み寄った。

「なにが、ですか？」

ひょこつと頭を傾けると、一枚の原稿の半分から、どうも進み悩んでいるようだ

「なにになに？ 婦人は・・・」

「こりゃ試すしか、ねえな」

「ーえ？」

ぼそつと呟いたせんせいの言葉
紡ぐことが出来ずに塞がれた口

「――っんん！」

「試すつて、何を・・・?!
腰に巻き付くせんせいの腕と、
頭を押さえつけられている手で作ら
れた完全なテリトリ！」

あたしは横目で必死になつて、原因であろう原稿を覗き込んだ。

書かれているのは男女の営み
情事を楽しむ主人公であろう男

「――えっ！せん・・・ひあっ」

おしゃべりなあたしの口を封じるように、掻き上げられた髪から覗
く耳を甘噛みしながらせんせいの手はゆっくり背中を這った。

つつつ、と移動した手はやがてホックを器用に外す。

ふ、とせんせいが笑った気がする

露わになったそこに顔を埋めて。

「くっく」

せんせいの息が、髪が、肌を刺激してくすぐったい。
ざらついた舌が膨らみを愛撫した時には、思わず全身が震えた。

「――っあ」

あたしは無意識に、目の前の服に皺が出来るほど強くしがみついていたのだ。

「ーなに？もつと欲しいわけ？」
「ちがー・・・っ」

「ーくない、だろ？」

確実に下に向かった指が、奥深くへと一気に埋められて

自分でも信じられないくらい高い声で鳴いてしまった。

「ふ、いい声」

「いやあ、せんせ」

「・・・・・・」

何故か一瞬顔をしかめたせんせいは、指を抜いて舌を這わせると、あたしをひよいと抱き上げた。

「え・・・・？」

あからさまにあたしは残念な顔をしてしまったのか、にやりとせんせいが笑った。

「安心しろ、続きはやるから。ただここじゃもつたいねえ。」

すでに半分腰が抜けてたあたしは、ぎゅっとせんせいの首に腕を回して。

連れてこられた先はふかふかなベットの上だった。

「さて、いっぱい鳴けよ？」

その夜、完成された小説の文面に無いような愛撫が繰り返されたのは言うまでもない。

―小説、関係ないじゃない！

（後書き）

初めてコメントをもらって浮かれた作者が、勢いで書いた作品です
（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2274d/>

狼につき、策士

2010年11月5日21時31分発行